

シリアの紛争解決におけるシリア女性の役割

以下は、2013年12月19日、ジュネーブで、プムジレ・ムランボースクカ国連ウィメン事務局長が、各国国連大使・シリア女性グループ・ブラヒミ国連特使を前に、和平プロセスにおけるシリア女性の役割について述べたスピーチである。

皆様

最初にお伝えしたいことは、我々はシリア女性と連帯しており、人道的危機の大きさ・国内外の難民キャンプで暮らすシリア国民の苦難・特に厳冬期に入ってからからの状況の悪化を認識していることです。難民の70%以上が女性と子供で、彼らは紛争の矢面に立ち、安全を脅かされ、性と生殖に関わる基本的サービスを受けられません。今や家族を養育しなければならない立場の多くの女性が、収入源を求めて苦闘しています。

我々は、国際規範・基準、及び和平プロセスにおける女性の参画を支援する命令・決議に従って協議し、これを擁護する国連加盟各国と国連特使の皆様への支援に感謝します。和平協議への女性の参画は、民主主義の基本的権利であり、永続的和平に不可欠なものです。和平代表・交渉団に女性の参画を求めるシリア女性の切実な声の実現を、皆様の努力に託したいと思います。ニーズは膨大であり、国連ウィメンにとっても国連機関全体にとっても、シリア女性支援のためにやらねばならないことは山積しています。

国連ウィメンは、シリア危機への対応と、シリア女性を確実に政治プロセスに参画させるために、3つの対策を実施してきました。

第一に、難民女性への緊急支援策として、収入源プロジェクトと基本的公共サービス（暴力被害者への精神的・法的支援等）の利用を推進しています。

第二に、シリア女性の現状に関する情報収集・共有に関する情報格差を埋め、国連が対応する女性問題の主流化が確実に図られるよう努力しています。シリア国内や近隣諸国の難民キャンプで暮らすシリア女性・女児のニーズを把握し、国連計画や人道的対応に情報提供するための、ニーズ評価を行なっています。

第三に、現在の政治プロセスに女性の集約的意見が反映されるよう支援すると共に、和平プロセスだけでなく将来的にも、女性の発言力を増強し、女性が効果的に貢献できるよう、幅広く市民社会の女性の意見を聞きながら支援してきました。

特に強調したいのは、9月の国連総会開会中、国内外のシリア女性が、国際社会に向けて繰り返しアピールを行ったことです。オランダ政府を始めとする国際的パートナーの支援のおかげで、シリア女性の1グループは、ブラヒミ特使に対して、公式和平協議で女性により重要な役割を持たせるよう要求しました。それを受け、国連ウィメンは、国連政治局・ブラヒミ特使団と協力し、シリア女性の要望実現に向け努力してきましたが、この活動を通して明らかになったのは、多くのシリア市民社会・女性グループが要求を出しているものの、これら多くのグループが今なお分裂状態にあることです。

国連は、多様な女性グループ・組織を一つにまとめ、彼らの関心事と優先事項を統合し、

和平交渉とその後に向けた重要な原則・要望を明確にするための、中立的議長役として、重要な役割を担っています。この目標に向け、国連ウィメンは、先頃フィンランド政府支援の下、アンマンにおけるシリア女性会議の開催を後援しました。

この会議では、以下のような二つの重要なメッセージが出されました。

1. 紛争の政治的解決とシリア国民の苦しみを取り除くことが必要であること
2. 国連・国際社会に、様々な解決策の実行と和平プロセスへの女性の参画支援を、強く呼びかけること

前進に向け、我々は、オランダ政府・ブラヒミ特使団と協力し、1月12・13日ジュネーブで、ハイレベル女性市民社会会議を開き、シリア国内外から平和的政治的解決に取り組んでいる多様な女性グループのリーダーを集め、一つにまとめようとしています。

我々は、会議の協議プロセスを全面的に担当し、必ずシリア女性の期待に応え、会議の内容・結果をシリア女性が自分のものにできるようにしたいと思っています。

最後に、強固な協力関係を築いてくださったオランダ政府を始め、シリアへの人道的対応を支援し続け、シリア女性の和平プロセスへの参画支援を擁護してくださったすべての皆様にお礼を申し上げます。

つい先頃亡くなられた偉大な指導者ネルソン・マンデラの以下のような名言をお借りして、私のスピーチを終わりにしたいと思います。「物事は、それが実現するまでは、常に不可能なことに思われる。・・・楽観主義者であることの一つは、顔をいつも太陽の方に向け、足を常に前に踏み出すことだ。」と。

私は、あなた方シリア女性の皆さんから、前に向かって歩んでいるという連絡が来ることを期待して待っております。そして、国連ウィメンは、シリア和平プロセスへの女性の参画を、変らず支援していくことをお約束します。